



花の保存に関する資料

(試験実施者：石見銀山農業協同組合)



石見銀山農業協同組合 プレハブ型氷感庫

島根県 石見銀山農業協同組合 では出荷調整を目的にプレハブ型氷感庫を運用中。

3坪プレハブ型氷感庫



【外観】



【内部1】



【内部2】

庫内は
ステンレス製の棚を使用し、通電性を確保。
温度は少し高めに設定し、生花に適した状態で保存。

同施設において生花の保存試験を実施。



1: 菊の保存比較試験 5月26日仕入れ

試験内容：A)氷感庫 B)氷感庫から常温へ C)一般生花用保存庫 D)一般生花用保存庫から常温へ
温度：各+6°C設定 電圧：氷感庫内 3,000v 備考：氷感庫は開花を促進するため電気を24時間点灯

氷感庫



8日目
一般生花保存庫に比べ、開花が遅い



出庫後常温にて4日目
室外に出庫しても開花が遅い
(花持ちが良い)



氷感庫内保存14日目
氷感庫内では2週間目であっても開花はわずか

継続



一般生花保存庫

8日目
庫内で開花が進んでいる



出庫後常温にて4日目
出庫後すぐにピークを過ぎる



一般生花用保存庫内14日目
氷感庫に比べ開花が進んでいる

2: バラ・カサブランカの保存試験

試験内容：氷感庫8日間保存後常温にて経過観察

氷感庫保存時 温度：0℃設定 電圧：3,000v

氷感保存前の生花

バラ・開花1

カサブランカ・開花1, つぼみ3



⇒
8日後
出庫



氷感保存前の生花

バラ、カサブランカの開花は止まっている状態。つぼみに関しても当初との変化が感じられない。

2: バラ・カサブランカの保存試験

氷感庫8日間保存後、常温にて花の状態を経過観察(花の購入したお客様の環境を再現)

氷感保存後、常温にて2日目の状態
カサブランカつぼみ3個中2輪が開花
バラも少しだが当初より花びらが開く



氷感保存後、常温にて3日目の状態
カサブランカは全て開花
バラはかなり開花が進んでいる



氷感保存後、常温にて4日目の状態
カサブランカ3輪が開花、バラは少し花びらが痛み始めている



氷感保存後、常温にて7日目の状態
カサブランカ全てが開花、バラは痛みが進む



3: チューリップの保存試験 (平成16年1月21日 実験開始)

使用したチューリップ
平成16年1月21日仕入れ
ピンク 2本、赤 2本
保存温度 6℃
設定電圧 3,000ボルト
水換え 行わない

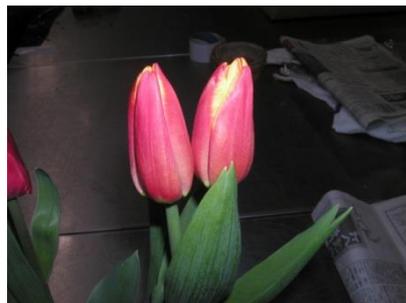


結果

水感庫では水換えを行わなくても長期間(1ヶ月間)の保存が可能。また、一部開花が始まっていることから、緩やかに成長していることが判明した。

平成16年1月21日

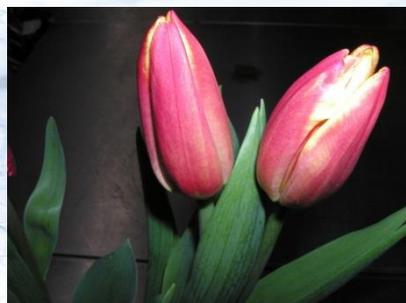
スタンダード



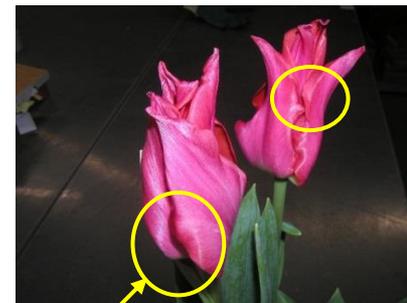
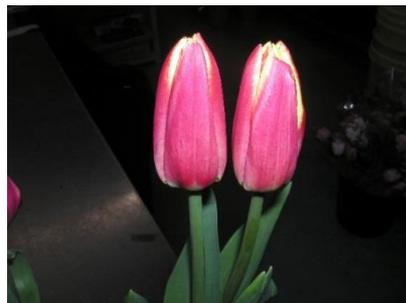
フリルタイプ



平成16年2月2日
(13日目)



平成16年2月19日
(30日目)



開きだした部分

00000000
00000000



END



IWIATOMI CO., LTD